

仕事人秘録

専務を経て1991年に社長に就任。創業者で父の吉村義宗氏は代表取締役会長に就いた。

91年4月、長年父を支えてきた常務の叔父が63歳という若さで亡くなりまし

た。当時、父は77歳で私は47歳。叔父は父の信頼が厚く、父亡き後は私を補佐して

看板商品がトップ育てる ⑦

マロニー社長 河内 幸枝氏



創立50周年記念祝賀会で両親に感謝状を贈った

2代目就任、父とは衝突

父の立場もできていない時に社長にも変わりま

めて「後ろには誰もいない」私から報告を受ける以外は

と実感しました。それまで父をはじめ、私を幼いころ

から見守ってくれていた経営幹部がそばにいました。

すでにかなりの部分の経営判断は私に任されていたと

はいえ、自分の後ろには皆がいたので。社長として、

経営・人事

自分が最終決断をしなければならぬ立場になりました。

「苦労もしていないのにいい気になって」。そう私のことを思っていたであろう父の表情が「味わい深く

まるやかに」と題する記念誌を手にしたとたん、笑顔

に変わりました。「幸枝は自分のしてきたことを理解

し、認めてくれてる」と本当にうれしそうな顔を

しました。父のお小言は、それを機にぴたりとやみまし